大分市報
毎月1日15日発行
発行所　大分市役所
編集兼発行人　兼田俊生
印刷所　高木印刷KK

大分市政だより　毎週日曜日午前七時半から、ラジオ大分で放送されます。この時間は市のお知らせや、皆様方の声が放送されるので、家中楽しくおきき下さい。

歳末助けあい運動

なんでもいただけばありがたい

「今年の歳末助けあい運動」は、婦人会、民生委員、自治委員（自治運営委員）の方の奉仕活動で、市民の皆様からあたたかい義捐金や、慰問品のご寄贈をお願いすることになりました。頂きました金品は、市内の恵まれない不幸な人をはじめ、中共、ソ連等抑留者の留守家族の方へ、「歳末の贈物」として、差上げることになっています。

全国一斉に十二月一日から月末まで、社会福祉月間として「歳末たすけあい運動」が行われます。この運動はご承知のように、社会に数多くある恵まれない不幸な人々がそうでない一般の方と同様に、明るい新年を迎えることができるよう、みんなの力で助けあおうというのが、その目的です。みなさんの中には、その目的がはつきりわかつていても、恒例化した「歳末たすけあい運動」については、「またか」と感じられる方が、いるのではないでしようか。

最近国民の生活が安定したとか日本経済は戦前をはるかに越えたといつていますが、私たちの眼の届かないところには、年末を控えて暗い表情につつまれた人が、大分市だけでも千数百世帯もあるのです。こういう人たちがどんな生活をしているか、皆さんご存知ですか。例えば大分市内Aさん（五九）の場合はこうです。十五年前天に死別、四人の子供をかかえ身を粉にして結婚したが、いろいろな家長して働いてきた。長男は成庭の事情で離婚し、二人の子供のうち一人を引取つて出稼に出たまま音信不通。次男は小さい時、脳膜炎を患らつて就労不能。三男は友達の世話で、東京に就職・長女は実家を離れ住込みで働いているが、これまた居所不明。家には現在残つているものは、脳膜炎を患つた次男と、孫一人（某中学一年）と神経痛で体の不自由な本人の三人だけ。

Aさんの家庭はいま生活保護を受けている。収入は次男とAさんの二人で、朝早くから夜遅くまで竹かご作りをやつている。これは一日で百五十円程度。材料費を支払えば、いくらにもならない上に、体が悪いということは目に見えない経費がいり、生活保護費だけでは、到底やつていけないといつている。つい最近孫が友達と高崎山に行くというので、二男が徹夜で竹かごを編み電車賃を持たしてやつた。ところが帰りは高崎山から歩いて帰り、残りの電車賃でおみやげを帰つてきたのには泣されたといつている。またAさんにとつて一番うれしいのは、孫が成績がよくて、先生にほめられるとき。これからも孫の成長を楽しみに、毎日を一生懸命二男と二人で頑張りますと涙ながらに話していた。

生活保護を受けているとはいえこんな気毒な家庭は、市内にいくさらでもあり、保護一歩手前の方でもつともつとみじめな人が沢山います。寒さにふるえ、生活に悩みながら、暗い表情につつまれて新年を迎えなければならない人達の心情を、みなさんと共に、考えてみましよう。社会保障制度があるとはいいながら、充分でないためそれ以上救済することができないのです。

市社会課の十月末調べによると市内生活保護家庭は九七一世帯（二、七四六人）で、これに近い要保護家庭は、約八〇〇世帯（平均四・六人で三、六八〇人）で、市内生活困窮者はざつと一、八〇〇世帯（六、四三〇人）もあります。また被保護世帯中、病気で医療扶助を受けている世帯は、約六割、五六七世帯もあり、うち三一三人が結核その他の病気で、入院している実情です。

こういつた不幸な家庭に、市でも県と協議して、歳末特別援護の方法をたてていますが、私たちと一しよにこんな人たちが少しでも明るい新年を迎えるよう、皆様の御援助をお願いしたいものです。

「歳末たすけあい運動」もこういつた趣旨のもとに、皆さんの協力を呼びかけていますので、どうぞこの運動には昨年より以上のご同情を賜わり、気毒な人たちが、明るい楽しい正月を迎えるようご協力下さい。

社会福祉事業へ寄附

市社会福祉協議会は次の方から香典返しにかえて、金一封のご寄附をいただきました。御芳志のほど厚くお礼申しあげます。

藤沢宏之氏　金池町南十二組
阿部　亀氏　南王子町三丁目
池上ミツ子氏　勢家南三組
平松　厳氏　浜町北二組
植山　愛氏　中島四条二丁目
増沢近知氏　春日浦
桑江英治氏　北下郡十四組

新年祝賀互礼会

日時　昭和三十四年元旦午前十一時から
場所　県教育会館三階ホール
申込先　大分市役所秘書課
締切十二月十日から二十日（土）まで
会費　百円（申込と同時に納入）

参加者の名簿を作りますので、申込む時は必ず住所、氏名、職業、電話番号を記入して下さい。

ともしび

ヘソ談義

長谷清彦

おかしくてたまらないことをヘソが宿替えする、ヘソが茶を沸かす、などといいます。ヘソは多分に愛嬌があり、少々気むずかしい人でも、ヘソの話しを始めると破顔一笑してしまう。過日子供たちと、クイズ遊びの最中、突然甥にはなぜヘソがないのか…と問題になつた。甥は卵生でヘソの必要がないと、小学四年の娘がいつた。

それにしても人間のおなかにヘソがなかつたら、おかしいなあと笑い出した。するとその娘は、人間には必要だからあるのだと、すまし顔で教えていた。ところが、大問題が起つた。隣の男の子が急にヘソの上を抑えて逃げ出した。あとを追つてヘソがないからだと爆笑する声が室内に溢れた。私は困つたことになつたと、いやがる子供のヘソを見ると、あるある臍帯の取れたあとが、あまりにも美しくちよつと上向き加減にあるため、遠くから見るとないように見えるらしい。つまりさき程必要があるからあるのだという娘の定説を思出し、男の子は安心した様子。

ヘソの研究については、一昨年だつたか、九大の教授が、ヘソの形体からの健康状態を、臨床医学の面から発表していたし前後してその形体から、人間の性格を調べた元別府公民館長の談話を新聞で読んだことがあつた。多くの子供と生活し、入浴を共にしていると、子供の顔と同様に、自然にヘソの形を覚えるので、子供を思出す時、必らずその子のヘソの形までが、余分に思出される。

さきの男の子のように、変形したヘソを多く見る時、両親の愛情や、家庭環境に欠けている家庭ほど、変形したヘソが多いように思われる。俗にいう「ヘソ曲り」という語源も、案外こんなところから、きているのではないかと、考えて見た。

とにかく子供の生活環境と、ヘソの形体とに、一連のつながりがあるように、思われてならない。（市立わかば園長）

埋れていた貴重な文化財

上野文化名勝顕彰会

大友神社祭を復活

大友氏一族四百年間にわたる政権の座は、当時の府内今の大分市にありました。従つて大友館（やかた）のあつた上野台地一帯には今なお有名な史跡、文化財が数多く残されています。そこでこの史跡や文化財を末長く保存しようということから、郷土史家の立川輝信氏（六七）などが発起人となり去る十一月「大分市上野文化名勝顕彰会」（名誉委員長上田市長、委員長立川輝信氏）を結成しました。

またこれを記念して、市内六坊若宮八幡境内にある大友神社祭典の復活をすることもきめ、大友初代領主大友能直の命日にあたる十一月二十七日、初の式典を行い、当日上野二社（若宮八幡、弥栄神社）二寺（宝戒寺、円寿寺）を開放して、大友史料はじめ、社宝、寺宝を一般に公開しました。

同合地に散在する史跡、文化財をあげると、宝戒寺には戦乱の京都を離れて府内に立寄つた画聖雪舟の天開図画桜（アトリエ）の跡、定朝作の大日如来（高さ三米）聖武天皇の勅願、円寿寺には府内藩主日根野公の墓、大友義統が朝鮮役従軍の際、同寺にささげた般若経六百巻、後水尾天皇（七十九代）の御宸筆。松平忠直が寄進した狩野芳崖作の大びよう風など。また上野東には大友館跡、元町には弓の名入百合若大臣の塚、岩屋寺の石仏（高さ約三米）元町の石仏顕徳寺テウス堂跡などの外、弥栄若宮二社にも数多い寺宝、社宝が保存されています。当日これら史跡、文化財を参観にこられた市民も、上野台地に眠り、一般に公開されなかつた数多い品々を見て、今更ながら往時をしのび、驚いていました。

（西山城大友館跡（上野東））

Xマス・ツリーはもみで

根付き苗木をあつ旋

クリスマスが近ずいてくると、野や山の木をむやみに切り取り、国の緑化運動をさまたげている人が多くなる。そこで市農務課では、Xマスを前に家庭の緑化をかねXマス・ツリー（もみ）をあつ旋することになりました。

十円（三十本）、六〇糎＝三百円（三十本）で、希望者は農務課に申しこんで下さい。鉢持参の方には植えて差上げます。

日本では、もみ、すぎ、ひまらやすぎ、ドイツとうひなど、いろいろな樹を用いていますが、外国でも、その国特有の樹を用いているところもあります。多く用いられている樹はもみの木、ドイツとうひで、中でももみの樹は、キリストの平和を喜ぶ象徴の樹として、西暦七二四年頃、初めてXマスに飾られたといわれています。

同課であつ旋する樹はもみの木で値段は一本について、一・二米＝四百円（二十本）、一米＝三百五十円（三十本）、六〇糎＝三百円（三十本）で、希望者は農務課に申しこんで下さい。鉢持参の方には植えて差上げます。

〝これはこれはとサルの群〟宣伝隊都内をねる

（銀座四丁目歌舞伎座前を行く学生サル）

去る十一月十八日から六日間、東京日本橋三越本店で、九州物産観光展が開催されました。大分市からはこの好機をとらえて「サルの縫いぐるみ」を作り、県出身在京学生十名がこれを着て、高崎山の観光宣伝を行いました。当時の模様を、市商工観光課観光係長の安部武さんは、こういつています。

十七日は各新聞社、旅行あつ旋業者等に挨拶廻り、十八日から三日間は、連日雑踏する神田―上野公園―池袋―新宿―銀座―日本橋―新橋地区に、宣伝カーや徒歩で廻つたが、どこへ行つても、どこの町でもたいへんな人気でした。一家総出で飛出してくるもの、高いビルには窓という窓に人の顔、学校は校庭の塀の上から「大分市の高崎山だ」「すごくあつたかそうなサルだ」「大きなオチヤルチヤンネエ」と、笑顔で迎えられ、子供はサルのあとに行列をつくるといつた始末でした。

神田須田町付近では、たまたま葬儀に出会つた。頭を垂れ哀悼の意を表したサルの一群に対し、喪服姿の遺族までが、笑顔で迎えてくれたが、この時ばかりは妙な気持になつた。三越本店の会場では、竹で作つた人間等身大のサルを立てたところ、歓舞伎座から是非で所望という声があり、売り物ではなかつたが譲ることにした。また同会場に出品した高崎山両陛下の写真（コルトン）の前では、特に観客の注目をひくなど、宣伝は予期以上の成果をあげた。といつています。

成人の日感想文募集

締切＝一月五日

大分市教育委員会では、来る一月十五日成人の日を記念して、来年成人を迎える市内居住から、次の要領で感想文を募集することになりました。

内容…成人になるにあたつての感想、希望、抱負、生活記録等を内容にしたもの。枚数…四百字詰原稿用紙で十枚以内。応募資格…昭和十三年一月十六日から、昭和十四年一月十五日まで出生したもの。締切…一月五日まで。送先…住所、氏名、性別職業、生年月日を明記し、大分市金池市教育委員会社会教育課まで届けること。

自衛官の募集

防衛庁では陸・海・空各自衛官の募集をしています。

学歴は、中学卒業程度の学力のある者、昭和九年三月二日から、昭和十六年三月一日まで生れた者、採用は来年三月の予定で、試験は国語、数学、社会の筆記試験に、身体検査と口述試験があります。申込は市総務課か、県庁内陸上自衛隊大分地方連絡部にある所定用紙で申込み下さい。

—◇　◇　◇—

身体障害者の巡回相談

社会課

大分市では次の日程で「身体障害者（児）の巡回相談」を行います。これは障害者の更生のため、医師や関係者が、無料で診察や、相談に応ずるものです。日程は十五日…市内駄の原県身体障害者更生相談所、十六日…長浜小学校、十七日…東大分小学校、十八日…南大分中学校。時間は何れも午前九時から午後三時まで。

相談対象者は①耳、目、手足に障害のある方②補装具の交付又は修理を希望する方③更生医療を受ける方④技術修得のため指導所に入所したい方⑤光明寮、整肢園に入園希望する方⑥就職生活指導相談⑦法改正による書類書替え未了の方⑧手帳交付、氏名及び居住地の変更された方なお手帳の交付や、書替えの申請の方は、写真（タテ四センチ、ヨコ三センチ）一枚と、印鑑がいります。

—×　×　×—

☆ハエもメスが長生き

アメリカの科学者が、オスとメスの家ばえ四千匹あまりを使つて調べたところ、生後三〇日目にはメスは五〇％生残り、オスは約五％しか生残らなかつた。オスの平均寿命は十七・五日、最長五四日メスの平均寿命二九・四日で最長六三日。ハエの世界もメスが長生きするらしい。

☆たばこの消費量

たばこの販売は本年度一、一〇〇億本、二、三八一億円の収入の予定で、成年人口一人当9年間二、〇二三本で、一日約六本の消費となる。

☆今年の火災数

昨年の全国火災は三四、六五〇件で前年より八、八三六件増加しているが、焼失面積は一、九二二万一千平方米（六三四、六五八坪）で二割減、損害額も二五三億円となる。

珍名くらべ

どれだけ読めますか

古閑　こが
矢作　やはぎ
玉置　たまき
布袋　ほてい
正田　しだ
札　ぬさ
史　ふびと
安居　あお
安孫子　あびこ
安積　あさか
白土　しらに
可児　かに・かこ
功力　くぬぎ
右左口　うばぐち
左石田　さうだ
令家　よしむね
安宅　あたか　あだか
伊丹　いたみ
伊砂　いさご
伊達　だて
百目木　どめき
百度　ずんど
百済　くだら
早乙女　そうとめ　さおとめ
西馬音内　にしもない

—難訓辞典より—

黄金の夢も近い

山変じて三万本のミカン園

滝尾柑橘組合員　幸先よいスタート

稲作による行詰まりを、ミカンの栽培によつて打開しようということから、市内滝尾農協が音頭をとつて、未開資源の雑木林三百ヘクタールの開墾に着手したのは、今年の三月。すでに第一期片島、稗田地区七ヘクタール、第二期津守地区十ヘクタール、下郡、羽田地区八ヘクタールも終り、十月下旬には、七ヘクタールに九千本を更に来年三月までには、三万本の植定を終ることになつています。

写真
上…苗木が成長しているミカン園
下…開墾当時の山

また八十三名の組合員は、大分市滝尾柑橘組合（組合長加藤繁喜氏）を結成し、将来は団地栽培合理化のため、道路を拡張し、潅水、消毒も台地に貯水槽を設けて、共同作業を行う計画もすすめています。現在大分市のミカン作付面積は、二百三十ヘクタールで、今年は二千四百トン（昨年より九七〇トン多い）の豊作。またこういつた団地栽培に平行して、各地区でも着々ミカン栽培のための開墾事業がすすめられているので、昭和三十六年頃には、作付面積も三百五十八ヘクタール、年産三千五百トン（約一億二千万円）の生産が期待されています。

大分ミカンの産地といえば、志手椎迫、獣ノ原台地といわれていたが、滝尾地区が今後四―五年もたてば、反当千百キロの収獲は確実で、十年後には千三百トン（四千五百万円）の生産が予想される。

この裏付として、現在定植中の九千本の苗木の発育状態も、立地条件に加うるにブルトーザーによる深耕や、適性土壌などと相まつて良好、栽培に余念のない組合員に無言の力と希望を与えています。

ジフテリアの予防は注射で接種しておけば安心

市衛生課では十二月五日から各校区毎にジフテリヤの予防注射を行います。

予防注射を受ける子供さんは、

①生後三ケ月を経過し、まだ一度もジフテリヤの予防注射を受けていない乳幼児（初回免疫）

②初回免疫終了後十二ケ月から十八ケ月に至る幼児（追加免疫）

③昭和三十四年四月小学校に入学する児童

④昭和三十四年三月小学校を卒業する児童

となつています。

注射料金は初回免疫（三回注射をうける方）が三十円、追加免疫（一回注射をうける方）が十円、日程は次の通りです。接種時間は午後二時から四時まで。

第一回	十二月九日	十二月二十三日	桃園、日岡、東大分、津留各小学校
第二回	〃十日	〃二十四日	住吉、長浜、金池、滝尾各小学校
第三回	〃十一日	二十五日	荷揚、春日、八幡、神崎各小学校
実施場所	〃十二日	〃二十六日	中島、大道、大学附属・各小学校及び南大分中学校

松竹梅作り方講習会

市花卉同好会では、正月の女関や、床の間を飾る趣味と実益をかねた、寄せ植盆栽松、竹、梅の作り方講習会を行います。日時は十二月十四日午前十時―午後三時、場所は船頭町＝三浦花笑園。

不用品の賣却…

市水道課では不用品を一般競争入札により売却します。

日時…十二月十日午前九時半

場所…市水道課

品目…鉛管屑―四トン

なお入札保証金は、入札金額の百分の一以上です。

十二月は市税滞納整理の月

いよいよ本年も余すところ一ケ月となりました。この一年間市民の皆様には、市税の完納にたえずご協力をいただき、厚くお礼を申上げます。

さてご承知の通り十二月末は、固定資産税第三期分の納期となつておりますので、この百パーセント納期内完納と、滞納市税の一掃を目標に、市徴税課では「年末市税滞納整理強調月間」を、十二月一パイ実施することになりました。

この月間中は、市税滞納者においでを願つて、種々ご相談申上げる一方、他に解決のない方については、動産、不動産の差押え、公売をも実施することにしています。

年末をひかえなにかとご多端のことと思いますが、市税完納のため一段のご協力をお願い致します。

米のヤミ売りはやめよう
余剰米は政府に

最近政府に米を売渡すと、農家だけを売渡せば、それで責任が果せたとはいえません。自家保有量を除いた残量は、予約の有無にかかわらず、すべて政府に売渡さねばならないことになつています。

今年は例年に比べ相当の余剰米があると思います。余剰米はヤミに流すことなくすべて、農協又は集荷業者に売渡して下さい。

所得が公けになつて税金が高くなるといつて悪質なデマが流布されています。このようなことは絶対にありません。むしろ政府売渡量一石について千四百円が、農業所得から減額される特典があり、政府に売渡す方が有利であるといえます。すでに産米の政府買上げが行なわれていますが、予約した量時をまとめ、申込み下されば指導のので、正月用にも十分利用できます。また出品者には出品物一点につき一本の福引券を渡し、賞品はこの売上代金をあてることにしていますので、出品希望者は十二月十五日まで、各出張所に申込み下さい。

券で汲取れない分は現金を請求

市衛生課

これまでし尿汲取りは、市役所衛生課窓口をはじめ、市内三十七の指定店で販売している汲取券でその券数（一枚一荷）だけ汲取り、残りはそのままにしてきました。

然し、みなさんの中から、それでは完全汲取りにならい。その場で現金を払から全部汲取つてもらいたいという要望がありましたのでこれからは券で汲取れない分は、その場で汲取料を請求し汲取ることにしました。又作業員が現場で現金を取扱うので、必らず領収書をもらつて下さい。

育雛ヒナの申込み

市農務課では育雛期を目前にして、ヒナの予約は早目に申込み丈夫なものを入手するよう、呼びかけています。市内の孵卵場は、新川孵卵場（五五三七）東大分農協孵卵場（二六四七）玉井孵卵場（二六三六）ですから、希望者は直接申込むこと。また中ビナや母鶏孵化の種卵、または養鶏指導を実地に受けたい方々には、地区ごとに日時をまとめ、申込み下されば指導します。

大分市園芸共進会

来る十二月二十二日から三日間、恒例の大分市園芸共進会が県教育会館で開催されます。出品点数は約四百点、果実百点、花卉五十点で、出品物はいずれも生産者が自慢するつぶ揃いのものばかりです。また希望者には即売もします。

新生活で明るい社会

年末がせまつて来ました。年末といえば、新生活運動と口をついて出るほどに関連づけられて考えられているようですが、新生活は必ずしも、年末年始に限られたものではなく、年中考えられなければならないのです。

又新生活といえば、万事を簡素化し、略式化して、耐乏生活を強いているように考えている人が多いようですが、これも又考え違いです。

新生活というのは

①民主々義の線に沿うように、行いや考え方をかえて行く、つまり人間改革を行うことが第一であると考えられます。

②今までの生活の習慣は、封建時代に打ちたてられたものですから、これをよく検討して新時代の精神に沿うよう、行事や習慣を改廃すべきです。

③日本の生活文化は一般的に低いものですから、生活の技術が非科学的で、不合理なものが沢山あると思います。これを検討して科学的、合理的なものにすることが大せつです。

このように考えると、新生活は一年中を通じて行われ、行事や習慣についても、すべてを簡素化するというのではなく、意義のあるものについては、むしろ盛大に行う必要のあるものもあるわけです。

大分市では、本年一月に市内各層の代表者が集まつて、新生活協議会を結成して、前に述べたことを中心に考え、いろいろな申し合せをしています。新生活の目的は個人個人の力ではなかなか達成できるものではなく、市民のみなさんが一様に線をそろえて、逐次実行して行くという方法がもつとも効果的であると考えられますので、みなさんも協議会の申し合せの線に沿つて組や町の人が一しよになつて新生活の目的を達成するようにして下さい。

年末年始の新生活は、各種団体で実践事項を決定していますが、私たちとしては、次の点に注意すれば、生活を明るく、豊かなものに近ずけることができると思います

①忘年会は充分考えて、意義あるものにする。

②クリスマス等も形式に流れず、その精神やよさを充分汲みとつて、馬鹿騒ぎの種にしないこと

③門松は国土緑化の線に沿つて自しゅくする。

④正月の三日間は国旗をたててお祝いする。

⑤年始の廻礼は、訪問をうける人やその家族の方の労力等を考え行きすぎないようにする。

このようなことが逐次実践できていくならば、明るい市民生活も遠いことではないでしょう。

市税滞納による公売

市税滞納処分により差し押えた財産を、つぎの要領で公売しますから、希望者は入札に参加して下さい。

一、日時　十二月十二日午後二時
二、場所　大分市役所徴税課
三、方法　一般競争入札
四、代金　即日納付
五、財産の内容、別表の通り

なお、①農地買受希望者は、農業委員会の買受適格証明書を提出して下さい。

②その他くわしいことは徴税課整理係へお問合せ下さい。

財産番号	公売財産の内容	最低公売価格	備考
1	大字荏隈字町口四四七田七畝四歩	一〇四、四〇〇円	
2	深河内一、五〇〇の二木造草葺平屋建居宅一棟十二坪五合木造草葺平屋建物置一棟七坪二合五勺	三、一〇〇円	
3	大字牧字向原一、六五〇畑七畝二八歩	一、〇〇〇円	
4	曲一、三五〇の一木造瓦葺二階建居宅一棟一階十六坪五合、二階六坪外便所一棟四坪五合	二三五、〇〇〇円	現況四八坪七合五勺
5	舞鶴六、〇七三宅地一九〇坪木造瓦葺平屋建居宅一棟二二坪七合五勺	一六〇、〇〇〇円	
6	荷揚町一〇三の三木造亜鉛葺平屋建店舗二棟二七坪五合八勺	四五、〇〇〇円	現況二階建兼居宅店舗一階三四坪二合五勺二階三二坪五合
7	電話加入権大分局二、一〇七	三、〇〇〇円	
8	〃　大分局三、九五六	三、〇〇〇円	
6	〃　大分局四、七四七	六〇、〇〇〇円	

財産番号	公売財産の内容	最低公売価格	備考
1	電話加入権津久見局二、八八一	三五、〇〇〇円	
2	〃　津久見局二、五五六	三五、〇〇〇円	

一、日時　十二月五日午後一時
二、場所　津久見市役所税務課
三、方法　一般競争入札
四、代金　即日納付
五、財産の内容

大友一族と府内

田北学

大友氏初代の大友能直が、豊後の守護職に任命され、一族郎党が入国したのは、今から七百六十二年前の建久七年でした。その後文禄二年二十二代大友吉統が豊臣秀吉から豊後を没収されるまで、約四百年間、大分市上野は大友氏政権の所在地でした。従つてこの長い期間、大友氏と大分市は密接な関係にあり、大友氏の歴史を研究せずしては、この四百年間の大分市の歴史は、全く分らないのであります。

二十二代の中で特に有名な人物をあげてみると、第一が初代能直で、この人の事蹟は、吾妻鏡や、玉葉等に詳しく載つている外、大友氏一族の元祖として有名です。次は三代大友頼泰で、この人は蒙古襲来の際、豊後の将兵を率いて筑前に向い、奮戦したのが有名で、その功により大正十三年二月、特別の恩召しで正四位に叙せられました。

次に国史上有名な人は、六代貞宗と八代氏時で、この人々は北朝（武家方）に味方して活躍しています。しかし常に武家方であつた訳ではなく、或る時は南朝（天皇方）に或る時は北朝に、と、離合向背常なしといつた有様でした。

大友二十二代中断然光つた存在は二十一氏宗麟でした。この時代になると、支配する国々は、大隅、薩摩、日向の南半分を除く全九州から、伊予までもその権力下に収め、事実上九州で最高の権力者でした。そして大分市は九州の政治、軍事、経済、文化の中心地となり大分市に来ることを「上国する」筑前、筑後に帰ることを「下国、退国」といつていました。

また宗麟はこの時代の武将に比べ実に進歩的な人で、当時の外国文化は勿論、キリスト教も初めて日本に輸入した人でありました。

当時の（府内）大分市はこれがいありません。史跡には上野六坊宝戒寺山門前にはオランダ井戸と称する古井戸や、オランダ屋敷と呼ばれる屋敷もあり、顕徳寺にはデイウス堂や、宣教師の居館コレヂオ、貧民救護院、病院等がありました。

また今の春日浦（神宮寺浦）には外国船が入港して、外国製品を陸揚し、唐人も多数府内に住み、盛んに対支貿易も行いました。

従つて当時大友氏の財政は実に豊かで、宗麟や父の義鑑が、将軍家や幕府要人に献上した虎、豹の毛皮をはじめ、数々の献上品を見てもわかります。また大友財政の豊かなのをねらつて、当時京都の公家や、幕府の役人等が、府内出張滞在を望む者が多く、且また九州諸大名の間でも、正月と八月（八朔）は慶賀の使節を恒例のように送り込み、大分市は全く異彩を放つた都市でした。当時世は戦国の時代でありながら、大友氏の偉大な力と治政は、外敵の侵入も容易に防ぎ、都市は安泰でしたが、たゞ天正十四年島津軍の侵入した際一度焼打に遭つただけで、その外は府内はあまり兵戦に荒されていませんでした。

この大分市を大友時代の大分市にかえし、九州の政治、文化、経済市長上田保氏の夢であるばかりでの中心にすることは、ひとり大分なく、大分市に住む者みんなの夢でなくてはならないと思います。

これを実現するために、みんながこの事業に協力一致して努力しなければ、ならないと思います。

筆者は元大分経専教授で、大友史研究家